

平成30年1月20日（土）朝日新聞25面（知多版）に来年度新設される教育コースについての記事が掲載されました。

# 小学校から大学まで教育連携



協定書に署名する（手前から）半田東高校の松田昌浩校長、半田市教育委員会の加来正晴教育長、日本福祉大学の児玉善郎学長＝半田市役所

小中学校を担う半田市教育委員会と、半田東高校、日本福祉大学（美浜町）が19日、教育連携・交流協定を結んだ。小学校から大学までが連携して、児童、生徒、学生、教員らの相互交流を深めて地域の教育力向上を目指す試みだ。こうした協定は全国的に珍しいという。

## コース新設を機に

かけた。

半田東高には今春、豊橋南高とともに県立高初の教育コースができる。教職を目指す子どもを受け入れ、「地域」「世界」「未来」を意識した教育を目指し、

2年生では授業の一環として

豪州の教育現場の視察も

あるという。連携は教育コ

ース新設を機に同高が呼び

協定では、市内の小学校

で教育コースの生徒の体験

実習を受け入れたり、同高

が生徒を小中学校や地域の

行事に派遣したりする。小

中学生や教員との交流活動

にも力を入れる。

また、大学側も教員を目

指す学校教育専修がある子

ども発達学部を中心に、小

中学校の教員支援や学生ボ

ークシステムの一助になれ

ば」と期待する。

日本福祉大の児玉善郎学

長は「子どもが減るなか

で、小学校から大学まで連

続して相互に連携し、地域

社会の一員としてしっかりと役割を担う人に育てたい」。市教委の加来正晴教育長は「将来への夢や目標を持つ生き方教育に力を入れているが、義務教育だけではできない。協定によって、さらに強固になると楽しみだ」と述べた。

今後、地元企業との連携

作りをすることで、半田で

子育てをしたいという人が

増えると思う。ほかの分野

にも広げたい」と話した。

半田市教委×半田東高×日本福祉大

ランティアの派遣、半田東高への出前講座などを計画。同高は学生インターネットも受け入れる。

## 「半田で子育てを」

同高の松田昌浩校長は「教職を目指す生徒たち

が、今度は職業としての小

中学校の先生の背中を見せ

てもらえる。子どもたちが

地域に愛されて自立してい

くシステムの一助になれ

ば」と期待する。

日本福祉大の児玉善郎学

長は「子どもが減るなか

で、小学校から大学まで連

続して相互に連携し、地域

社会の一員としてしっかりと役割を担う人に育てたい」。市教委の加来正晴教育長は「将来への夢や目標を持つ生き方教育に力を入れているが、義務教育だけではできない。協定によって、さらに強固になると楽しみだ」と述べた。

今後、地元企業との連携

作りをすることで、半田で

子育てをしたいという人が

増えると思う。ほかの分野

にも広げたい」と話した。

※ この記事は朝日新聞社の許可を得て掲載しています。

（豊平森）